

(株)イマオコーポレーション

関市・製造業（機械部品）

従業員数 / 男性198名 女性86名 計284名 ※令和6年11月現在

エクセレント
POINT

- ①社長と全社員が個人面談し、社長自らが社員のニーズを把握
- ②最大100日の特別傷病休暇、企業団体保険加入など福利厚生充実
- ③男性育休推進により、対象者の80%が育児休業を取得

製造業

社員、家族に寄り添う働き方制度の充実

産業機械用部品の開発、製造などを行っているイマオコーポレーションでは、所定外労働時間を発生させないよう徹底して取り組んでいる。昼休みや終業時間の10分前からは留守番電話に切り替えたり、2018年10月からは当日出荷分の受注締め切り時間を14時から3時間早めて11時にするよう関係各



受発注業務等を行う業務部機工グループの森恵里子さん。当日出荷分の受注締め切り時間が前倒されたことで、時短勤務中でも焦ることなく働いているという。

社に依頼。2人の子どもを育てながら時短勤務で働く業務部機工グループの森恵里子さんは「受注締め切り時間が前倒されたことで、時短勤務中でも落ち着いて働いている」と話す。男性の育児休業取得推進も積極的に進んでおり、埼玉テクニカルセンターの古田均さんは、妻が第1子を出産した時に続き、第2子出産の際にも育児休業を取得した。営業という職種上、上司や同僚だけでなく取引先の協力にも感謝しつつ、「子育てに関する喜びを感じる」と話す。

2年に一度、社長との個人面談もあり、社長自らが社員のニーズを把握することで、希望に沿った人事異動や社内制度の見直し、福利厚生制度の導入につながっている。実際に有休の入社日付や工場内の冷暖房完備、同僚社員の結婚式出席の際の祝儀補助などが実現した。



展示会でアテンダを務める埼玉テクニカルセンターの古田均さん。第1子に続き、第2子でも育休を取得した。

社員想いの職場づくりは今に至るまで、入社後1年が経過した全ての正社員を対象に、会社負担で死亡保険や傷害保険、医療保険、労災上乗せ保険に加入する取り組みは30年以上前から実施。会社が負担する保険料は年間200万円ほどと同規模の会社と比較して格段に高いと言いつつ、社員はもちろん、支える家族も安心して仕事に送り出すことができている。